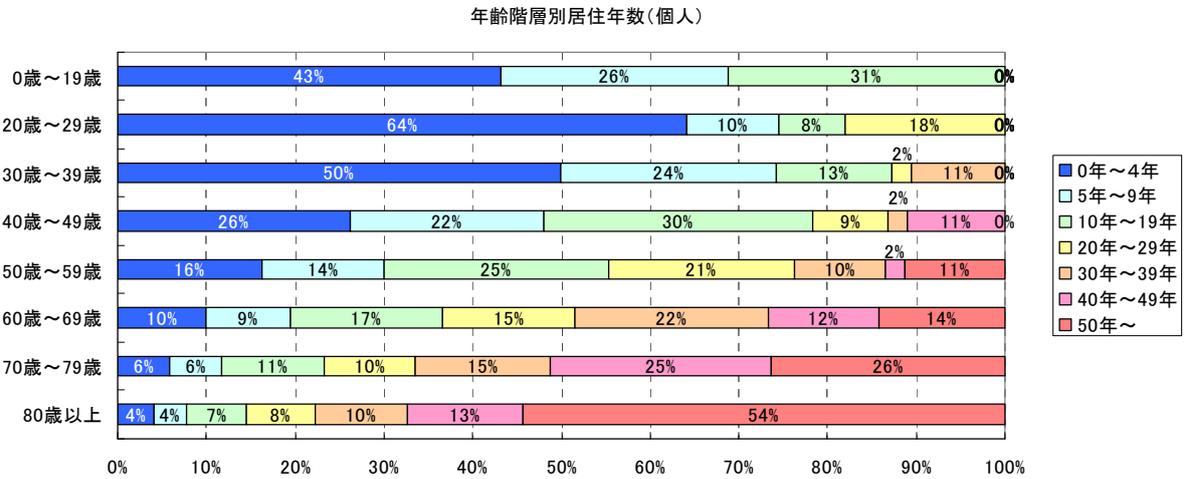
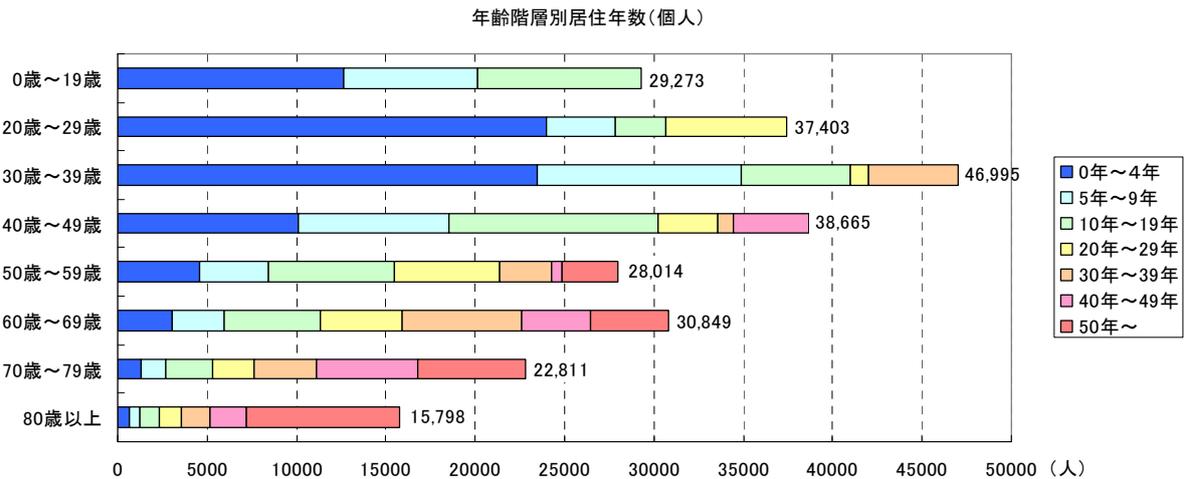


居住年数

平成24年11月6日時点における、豊島区の「住民記録データの現住者」の居住年数※の集計を行った。（※区内転居については集計を行っていない）

①年齢階層別居住年数（実数、割合）

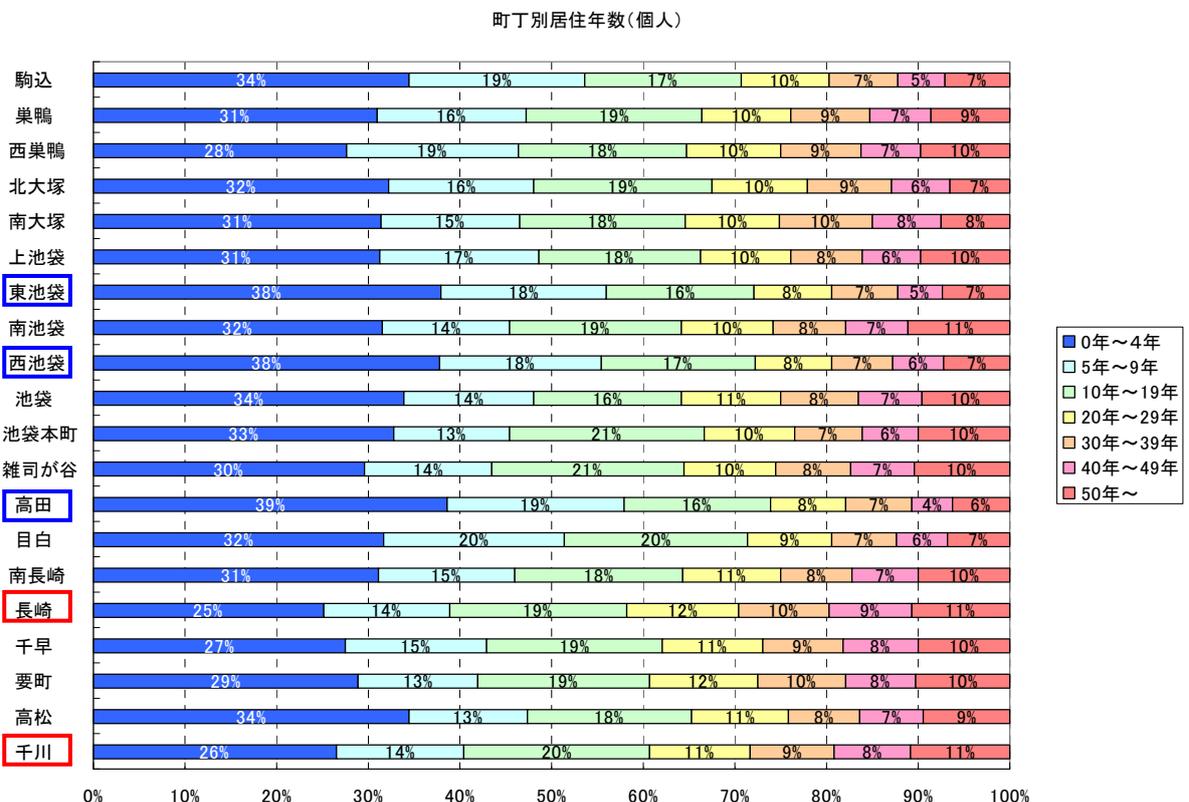
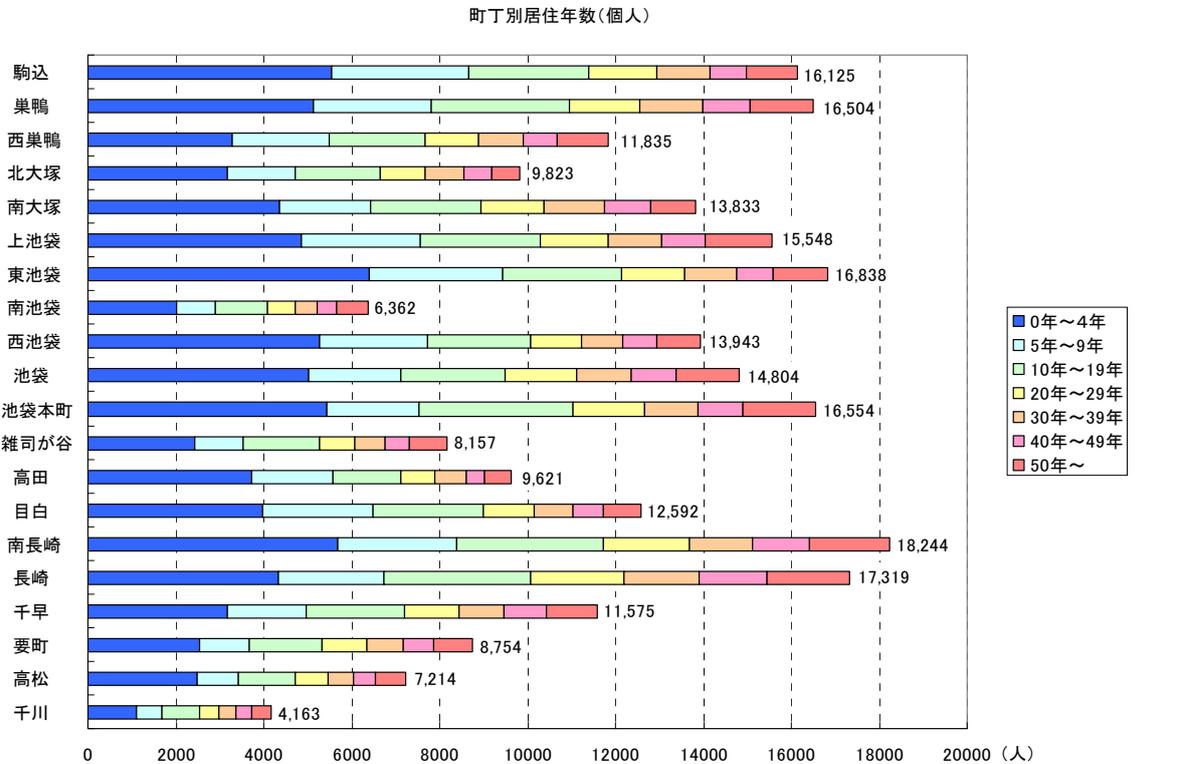
年齢階層別の居住年数の割合をみると、70歳以上では40年以上居住が過半数を占めている。一方で、20～29歳、30～39歳の階層では、5年未満の居住年数が過半数を占める。



②町丁別居住年数_個人（実数、割合）

町丁別の居住年数の割合では地域による大きな差はないが、東池袋・西池袋・高田のエリアで5年未満の居住者が若干多い。

長崎や千川などの区の西部のエリアでは30年以上の居住の割合が多い。



④世帯の種類別居住年数（実数、割合）

世帯の種類別居住年数をみると、単身者世帯の5年未満居住が過半数を占めている。

夫婦のみの世帯、18歳未満の子どものいる世帯でも、10年未満が約6割となっている。

一方で、高齢者を含む世帯では、40年以上の居住世帯が過半数を占め、そのうち、50年以上の居住が全体の3割を超えている。

